

フロイント産業株式会社

株主通信

2020年2月期 中間

(2019年3月1日～2019年8月31日)

株主の皆様へ

第7次中期経営計画の3年目である2020年2月期。当上半期は、国内市場環境の大きな変化を再認識するとともに、当社グループの今後の方向性を改めて模索する重要な局面となりました。

代表取締役社長

伏島 巖



当上半期の事業活動レビュー

機械部門

医薬品分野

国内では、ジェネリック医薬品比率が政府目標の80%にほぼ到達していることに加え、薬価改定など、製薬メーカー各社が設備投資に対して想定以上に慎重になっており、受注実績が鈍化しました。一方で、2019年8月、薬事に関する研究機関向けに、連続造粒装置「Granuformer(グラニューフォーマー)」が採用され、連続生産の普及という点で新たな一歩を踏み出しました。また、錠剤印刷装置「TABREX Rev.(タブレットクス・レボ)」の改良がほぼ完了し、本格的な拡販の局面に入りました。

米国子会社では、南米の市場環境が回復しつつも、その他の地域では低調な業況が続いています。しかしながら、新製品であるスプレードライヤー(噴霧乾燥装置)「VSD-800」を初受注、また連続生産装置の現地テストが可能になったことなど、新たな製品領域に動きが出てきました。加えて、インドにParle Freund Machinery Private Ltd.を設立し、アジア地域における当社グループ初の製造・ラボ基盤を構築しました。

非医薬品分野

米中貿易摩擦などの影響から、中国を中心とする電池関連事業が低調でしたが、新製品開発が一段落し、新製品の販促を含めて、当下半年以降の受注に向けた取り組みを進めています。

化成品部門

医薬品分野

医薬品添加剤事業は、国内ジェネリック医薬品メーカー向けを中心に、当社の主力製品群が好調さを維持しました。また、信越化学工業(株)と共同開発した口腔内崩壊(OD)錠向け直打用賦形剤「SmartEx®」の本格増産に向けての設備投資計画も視野に入ってきました。

非医薬品分野

食品品質保持剤は、計画通りの増収基調を維持しました。

当下半年以降に向けた新たな取り組み

国内の医薬品業界では、少子高齢化の流れのなかで、より少数多品種的な生産体制、省人化や連続生産などが求められつつあります。このような市場変化に対して対処するべく、本年9月より、カスタマー、購買、技術開発、品質保持剤、生産、コーポレート、経営企画といった機能別組織とする体制変更を行いました。

海外では、人口増加、健康志向の高まりなどから、中国・アジア地域を中心に、固形製剤需要が伸長すると予想しています。これらの地域では、機械装置の単品販売ではなく、半世紀以上にわたり積み上げてきた当社の製剤技術・ノウハウを「ハードとソフト」の両面で事業展開し、独自の市場を切り拓きたいと考えています。

グローバル展開に向けた インドにおける布石

2019年3月、発展著しいインドを中心とした製薬市場における機械装置の販売代理店であるParle Global Technologies Private Limited(以下「PGT社」)との間に、合併会社Parle Freund Machinery Private Limited(以下「PF社」)を設立いたしました。

当社の造粒・コーティング装置の販売代理店であるインドPGT社とは、過去10年間にわたり、パートナーシップを築いてきました。現在同社は、インド国内に9支店、5工場を有し、販売・サービスの両面で製薬業界をはじめとした産業界の幅広い要求に応えています。

1974年に産業機械メーカーとして創業したPGT社は、当初より、数多くの大手製薬メーカーが拠点を持つムンバイ(マハラールシュトラ州)の近く、ヴァサイに工場を持ち、さらに薬品の製造拠点の立地が増加しているグジャラート州にも工場を展開しています。営業面では、インドを代表する製薬メーカーの多くが所在するハイデラバード(テランガーナ州)にも支店を有しており、当社グループにとって市場アクセスの機会拡大が期待されます。

合併会社設立は、2015年のPGT社からのアプローチに始まります。インド市場において、ニッチではあるものの、当社の造粒・



PF社の代表者
Mahendra Mehta,
Managing Director

「フロント産業には、PF社生産チームとの一層の技術交流をお願いしたい。それにより、フロント産業の期待に沿った連携を実現したいと考えています。」



PF社生産の乾式造粒機
ローラーコンパクター「TF-208P」

コーティング装置が高く評価されているとのことで、2019年3月に正式な提携に至りました。まずは、当社が日本から基幹部品を提供、PF社が組み立てを行い、生産コスト低減のための事業基盤構築に着手しています。

PF社の役割は、当社の技術に裏付けられ、かつ現地のマーケットニーズに適応した製品を拡販することです。手始めに、乾式造粒機ローラーコンパクター「TF-208P」の生産を手掛け、2018年秋に1号機を完成させました。インド最大の製薬業界展示会であるCPhI&P-MECに出展、2019年3月に顧客への納入が実現しました。

現在は2号機を生産しています。9月の展示会に出展し、複数社からの引き合いやテスト依頼もあることから3号機の生産手配を行っています。これらの実績を通じて、技術力を蓄積し、今後はより大容量の製品生産を行う計画です。

将来的には、顧客製薬メーカーの様々な造粒手法ニーズに応じて、遠心転動造粒コーティング装置「グラニュレックス」などのラインアップの拡大も検討しています。

ESGトピックス

社外監査役メッセージ

社員一人ひとりの自律的な行動をグループ横断的なチャレンジにつなげ、一体感あるグループ価値観『ONE FREUND』を実現してほしい。

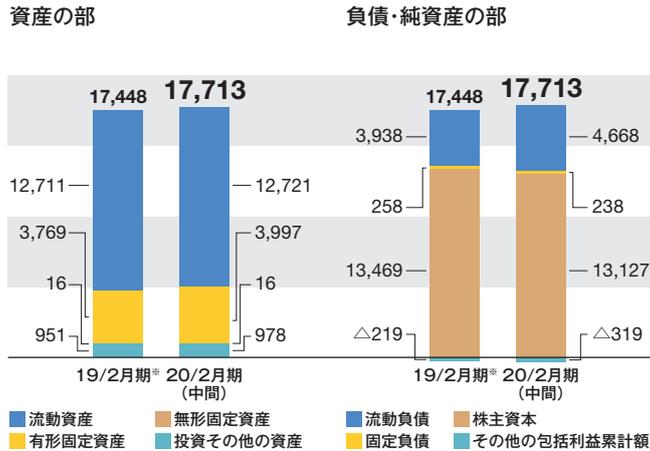
フロント産業には、オーナー経営による強いリーダーシップがあります。中長期的な視点に立つ経営、迅速な経営判断などがその強みとなっています。一方で、社員が経営トップに依存しがちという弱みがあることも否めません。このため、現在、自律的な人材育成のための取り組みが強化されています。社員が自ら考え行動し、それがグループ横断的なチャレンジにつながれば、一体感あるグループ価値観『ONE FREUND』はおのずと実現されるでしょう。

医療や食品など、世の中に必要とされる事業領域に従事する当社グループは、社会的価値を大いに創出できる立場にあります。社員の皆さんには、そのような会社で社会に貢献できる素晴らしい仕事をしているのだという自覚・自信をもって、エクセレントカンパニーを目指してほしいと思います。私は、そのためのサポートに尽力してまいります。



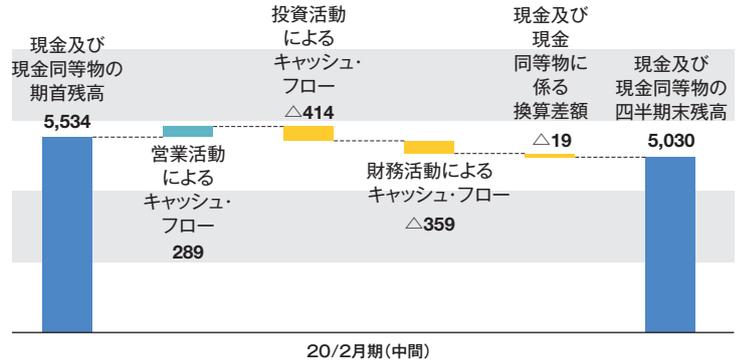
社外監査役 佐藤 光昭

連結貸借対照表 (百万円)

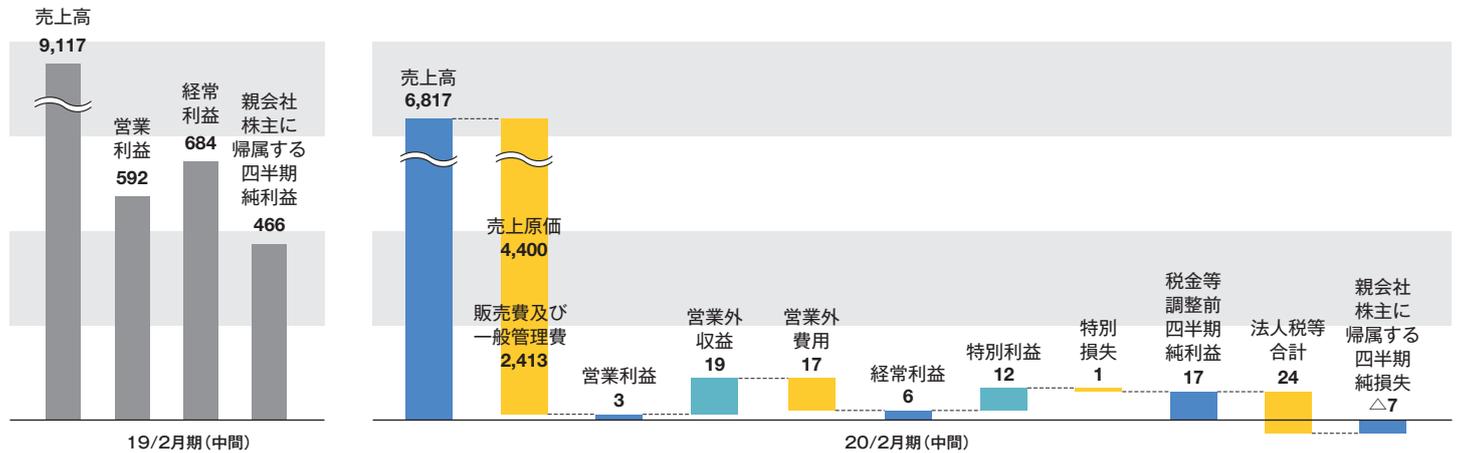


※「税効果会計に係る会計基準」の一部改正等を期首より適用しております。

連結キャッシュ・フロー計算書 (百万円)



連結損益計算書 (百万円)



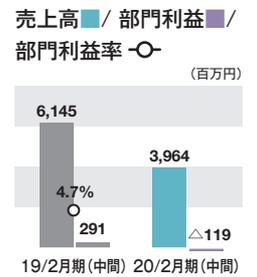
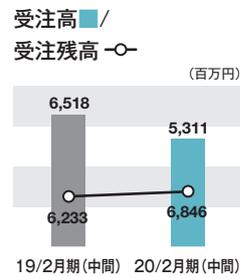
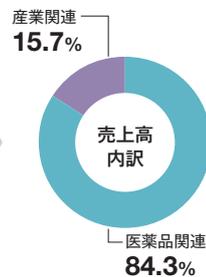
REVIEW OF OPERATIONS

事業概況

医薬品、食品、ファインケミカルなどの様々な分野向けに、造粒、コーティング装置などを製造・販売

グループ会社
 フロイント産業株式会社
 フロイント・ターボ株式会社
 FREUND-VECTOR CORPORATION
 Parle Freund Machinery Private Limited

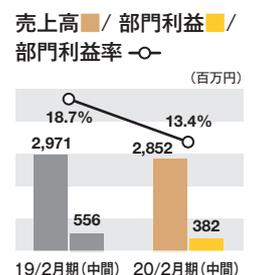
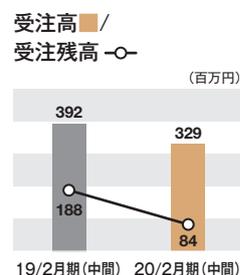
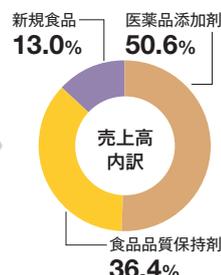
機械部門



医薬品添加剤、食品品質保持剤、栄養補助食品などを製造・販売

グループ会社
 フロイント産業株式会社

化成品部門



会社概要

商号	フロイント産業株式会社
英文商号	Freund Corporation
設立	1964年4月22日
資本金	10億3,560万円
事業の概要	医薬品、食品、化学等の業界向け造粒・コーティング装置及びプラントエンジニアリングと医薬品添加剤、食品品質保持剤、栄養補助食品等の開発・製造販売
従業員数	380名(連結)

本社所在地	東京都新宿区西新宿6丁目25-13 フロイントビル
ホームページ	http://www.freund.co.jp
関連会社	【日本】 フロイント・ターボ株式会社 粉粒体機械装置の研究開発、設計及び製造・販売 【アメリカ】 FREUND-VECTOR CORPORATION 粉粒体機械装置の製造・販売 【インド】 Parle Freund Machinery Private Limited 粉粒体機械装置の開発・製造・販売

名誉会長	
名誉会長	伏島 靖豊
役員	
代表取締役社長	伏島 巖
社外取締役	真鍋 朝彦
社外取締役	中竹 竜二
社外取締役	今田 修
常勤監査役	平野 栄
社外監査役	佐藤 光昭
社外監査役	菅原 正則
社外監査役	泉本 小夜子

STOCK INFORMATION

株式情報 (2019年8月31日現在)

株式の状況

発行可能株式総数	60,000,000株
発行済株式総数	18,400,000株
株主総数	14,022名

大株主の状況

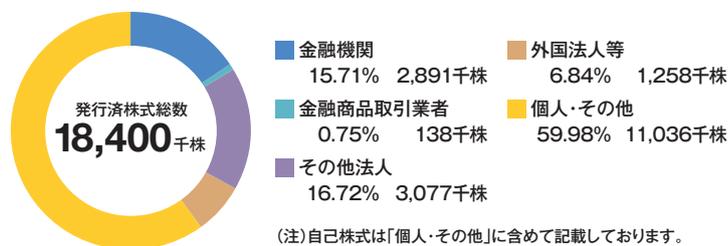
	持株数(千株)	持株比率(%)
(株)伏島揺光社	1,648	9.84
伏島靖豊	1,300	7.77
(株)三菱UFJ銀行	836	4.99
(株)三井住友銀行	744	4.44
(株)大川原製作所	673	4.02
UBS AG LONDON A/C IPB SEGREGATED CLIENT ACCOUNT	557	3.33
フロイント従業員持株会	729	4.36
PERSHING-DIV. OF DLJ SECS. CORP.	398	2.38
(株)静岡銀行	368	2.20
明治安田生命保険相互会社	360	2.15

自己株式1,655千株(9.00%)を保有しております。
持株比率は自己株式1,655千株を控除して計算しております。

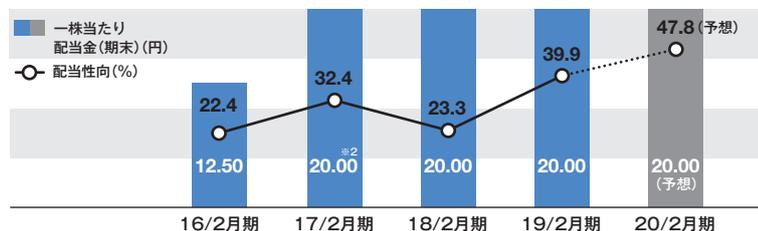
株主メモ

事業年度	3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月開催
株主確定日	定時株主総会・期末配当金 2月末日 (中間配当を実施するときの株主確定日は、8月31日)
株主名簿管理人 同事務取扱場所	三菱UFJ信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
お問い合わせ先	〒183-0044 東京都府中市日鋼町一丁目1番地 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711 (通話料無料)

所有者別株式分布状況



配当金・配当性向の推移※1



※1: 2016年3月1日付で、当社普通株式を1株につき2株の割合をもって分割しましたが、2016年2月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

※2: 2017年2月期は記念配当5.00円含む。

郵便物送付先

〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

公告方法

電子公告の方法により行います。
公告掲載URL (http://www.freund.co.jp)
ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。

フロイント産業株式会社

この株主通信に関するお問い合わせは下記までお願いいたします。

○経営企画部 IR/広報室 03(6890)0767 ○URL http://www.freund.co.jp

